

複数のEV・PHVで 電力供給実証実験へ

関電やアイケイエス

期間は本年度から3年間。大阪市中央区の大阪関西電力や京都市の充電装置会社など6企業下IMPビルで行う。京・団体が本年度、メーカ都市中京区のアイケイエーが異なる電気自動車スガ、EVなどから電気(EV)やプラグインハイブリッド車(PHV)を充電する装置を開発し、充電時にエレベーターのバッテリーから電力をベースを動かせるかどうかどうビルに供給するシステムかを検証する。実験では

大阪で3年間 事業化も検討

の実証実験を大阪市内でまた、夏場など電力需要が多い時にビルに電力供給する仕組みを構築する。経済産業省の「次世代エネルギー技術実証事業」の一環で、EVやPHVを計5台用いる。種安にできるシステムも検討する。関電は「有効性を確認し、5年ほどで事業化できるか判断したい」としている。(三村智哉)